

平成26年度後期高齢者医療特別会計当初予算額

(単位:千円)

歳 入	予 算 額	歳 出	予 算 額
1 後期高齢者医療保険料	40,873	1 総 務 費	659
2 使用料及び手数料	9	2 後期高齢者医療広域連合納付金	57,258
3 国庫支出金	0	3 保健事業費	1,309
4 後期高齢者医療広域連合支出金	1,249	4 繰 出 金	1
5 繰 入 金	17,031	5 諸 支 出 金	101
6 繰 越 金	474	6 予 備 費	372
7 諸 収 入	64		
歳 入 合 計	59,700	歳 出 合 計	59,700

平成26年度後期高齢者医療特別会計 予算の概要

【重点項目】

後期高齢者医療制度については、被保険者のための情報収集に努め、制度の丁寧な説明、周知に配慮します。また、健全で安定した制度を維持するため、滞納者対策を講じながら、保険料収納確保に努めます。

広域連合からの委託事業である、健康診査（ぎふ・すこやか健診）の受診率を向上させるため、必要性に主眼をおいた広報による周知を図ります。

【予算の概要】

（歳入）

特別徴収、普通徴収共に昨年の収入実績にそれぞれ収納率を勘案し、特別徴収33,384千円、普通徴収7,428千円を計上しました。滞納繰越分については、平成25年度滞納繰越額を120,400円と見込み、収納率50%として61千円を計上しました。

長寿健康増進事業として、円滑運営補助金の対象になる人間ドック補助事業を、平成25年度から行っていますので、60千円計上しました。

一般会計繰入金については、事務費繰入金で4,254千円、保険基盤安定繰入金で11,477千円、保健事業費繰入金で1,300千円を計上しました。歳入予算は、保険料と繰入金が総額の96.9%を占めており、その他は保健事業費委託金1,249千円、手数料、繰越金、諸収入で547千円となっています。

（歳出）

保健事業費として1,309千円を計上し、健診の案内送付等で、被保険者の疾病予防等に努めます。

一般管理費については、335千円を計上しました。消費税と被保険者の増加を見込み郵送料等が増加しています。

徴収費については主に納入通知書、納付書等作成料として324千円計上しました。

後期高齢医療広域連合納付金については、保険料負担金、事務費負担金、保健事業費負担金として合計57,258千円を計上しました。その他、一般会計繰出金、過年度保険料還付金及び予備費で474千円となっています。

歳入歳出それぞれ、59,700千円（対前年比2.1%増）を計上しました。以上が、平成26年度後期高齢者医療特別会計の概要です。